

コスモスの秋 2025 ひよんなことから昔の記憶を次々と思い出す老齢を意識した秋に



<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710AutumnFromKobe.pdf>

コスモスの秋 2025photo

- ◆ 毎年訪ねる加古川東岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.
- ◆ コウノトリ数羽飛来 日本一数多くのため池が点在する加古川東岸の稲美野 13:30
「節分 鬼踊り」で有名な高菌寺前「中池」に幸せ運ぶコウノトリが数羽飛来
原チャリで駆ける時にはいつも探すのですが、やっと出会えました
- ◆ 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」を読んで “幸福とは何か?” の問いかけ
- ◆ ドキュメンタリー映画「風琴」8月7日元町シネ ーあるリードオルガン修復師のあしあと
我が家にもそっくりの母のリードオルガン 幼いころの思い出や知人・仲間の事等々
おやじの国 丹後にも行けて 遠くなった記憶が次々と 思い出一杯の初秋に
- ◆ 10月30日 楽しみにしていた秋の氷ノ山林道自然観察会に参加
昨年より1週間遅らせての自然観察会とききましたが、まだ紅葉はこれから。
氷ノ山大段平のブナ林・そして横谷溪谷の秋 楽しい自然観察会でした。
紹介した林道歩きの基地は麓に車駐車、徒歩でないと安全上やっぱり無理と。ご注意ください
ほんとうにひよんなことから、過去を振り返って いろんな思いが駆け巡るコスモスの秋に
仲間からの近況メール 仲間みんなが家族共々老化と向き合う新しい道
自分だけじゃない!! と感じるコスモスの秋 お互い元気で毎日を 2025.11.1.

From Kobe Mutsu Nakanishi

- ◆ 毎年訪ねる加古川東岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025web.pdf>
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025.mp4>
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025photo.pdf>
- ◆ コウノトリ数羽飛来 日本一数多くのため池が点在する加古川東岸の稲美野 2025.10.25. 13:30
「節分 鬼踊り」で有名な高菌寺前「中池」に幸せ運ぶコウノトリが数羽飛来 やっと出会えました
コウノトリ飛来動画: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Kounotori.mp4>
- ◆ 急逝された親谷宏さん発信の動画「老いを楽しく生きるために」(2012年8月)をBGMにして
親谷さんの逝去を悼みました: https://infokkna.com/ironroad/netdoga/Philosophy_For_Old_Age.mp4
- ◆ 和鉄の道 9月掲載 思い出一杯の丹後路 風来坊の記録 2025.8.16.
スライド動画: infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk18.mp4
- ◆ pdf file PR パンフ: ドキュメンタリー映画「風琴」& 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710FromKobeTenpuA.pdf>

◆ 前月の便り : <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710.htm>

◆ 和鉄の道・Iron Road Top page: <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.ht>

コスモスの秋2025

仲間からのメールに みんな老化と向き合う家族共々の新しい道

自分だけじゃない!! と感じるコスモスの秋 お互い元気で毎日を 2025.11.1.

From Kobe Mutsu Nakanishi



毎年訪ねる加古川東岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.

◆ <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025.mp4>

◆ <https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025photo.pdf>

遅れてHP更新したところですが、仲間の近況メールへの返信photo

10月の風来坊見聞を近況メールに代えてのphotoメールです 2025.11.1.



コスモスの秋 2025 東播磨 志方広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.

◆コウノトリ数羽飛来 2025.10.25.13:30

数多くのため池が点在する東播磨 稲美野
鬼踊りで有名な高茵寺前「中池」に
コウノトリ数羽飛来 2025.10.25. 13:30



原チャリで稲美野を駆ける時いつも探す「コウノトリ」やっと出会えました



◆コウノトリ飛来動画: infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710.mp4

急逝された親谷宏さんが送ってくれた動画「老いを楽しく生きるために」(2012年8月)をBGMに入れて
親谷さんの逝去を悼みました。

◆親谷さんからのmp4動画: https://infokkna.com/ironroad/netdoga/Philosophy_For_Old_Age.mp4



コウノトリ

カワウの群れとシラサギ

県道65号西神戸・東播磨の田園地帯を抜けて姫路への裏街道 稲美町野寺 2025.10.25. 13:30.
北に鬼踊りで有名な高茵寺前のため池「中池」の土手にカメラを構えている人がある
日本一のため池地帯を抜けて加古川上荘橋へでる四季折々駆ける道 志方のコスモス畑への途中
ひょっとしてと原付を止める。南の土手側にカワウの群れ 東の砂地にいました!!
サギに交じって「コウノトリ」 稲美野を駆ける時、いつも探すのですが、やっと出会えました

◆ 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」の事。

幸福とは何か？

心に悩みがないことと、肉体に苦痛がないこと。 エピクロスが提示したこの素朴な条件に、私はもう一つだけ付け加えます。

すなわち「孤独ではないこと」。ー 夏川草介

スピノザの診察室の続編「エピクロスの処方箋」を読みました。
京都の街中とお菓子の釣られて読み始めたのですが、高齢者になって、不安が募る高齢者の医療や、今の医療に従事する人の眼差しがよく見える。新聞のニュース等が伝える医療現場の厳しさや患者・家族の痛み等々について、やわらかい言葉で描き、私には清々しい読後感。頭の体操になりました。毎日老化と向き合う歳になった今、人それぞれ。迷い考え違いも多いと。一昨日のgoogleの検索数みる1760000件のアクセス。もう、読まれた方もおられると思いますが、聞きしに勝る人気、ご参考になればと。

2025.10.25. Mutsu from Kobe

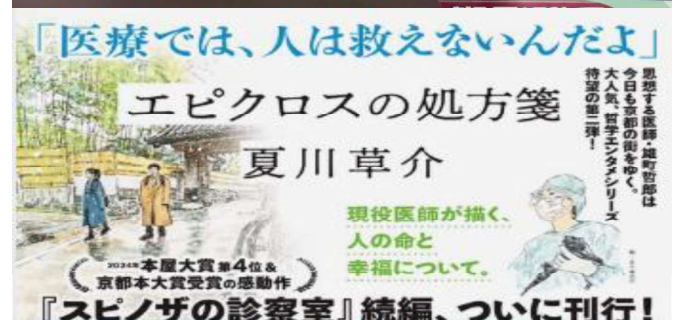


2025.10.17.神戸総合運動公園 コスモスの丘で



「幸福」とは何か。
幸福に生きるとはどういうことか。
幸福は環境が与えるものなのか、それとも
自分の力で生み出すものなのか。
幸福と快樂とは何が異なるのか。

夏川草介



夏川草介作『スピノザの診察室』の続編で京都の町中にある病院を舞台にした医療小説
私の知る京都の街と幾つも出てくる和菓子につられて、の読みだしました

◆ドキュメンタリー映画「風琴」 8月7日元町シネマ
ーあるリードオルガン修復師のあしあと

娘の勧めで本年8月こんな映画を神戸元町で観ました

昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、明治時代に「風琴」と呼ばれていた。

現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造するメーカーは世界を見渡してもどこにも無い。

このオルガンは今どうなっているのか。

長野県須坂在住の修復家・和久井輝夫さんはリードという金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを修復し、メンテナンスができる数少ない存在だ。

和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追うとともに、リードオルガンの歴史と、その魅力を支えるさまざまな人々を描くドキュメンタリー。オルガンを愛するひとたちが、ここにいる。(映画案内より)

映画が始まってすぐ思いもかけず、

「我が家に眠っていた母のオルガンそっくりや」と。

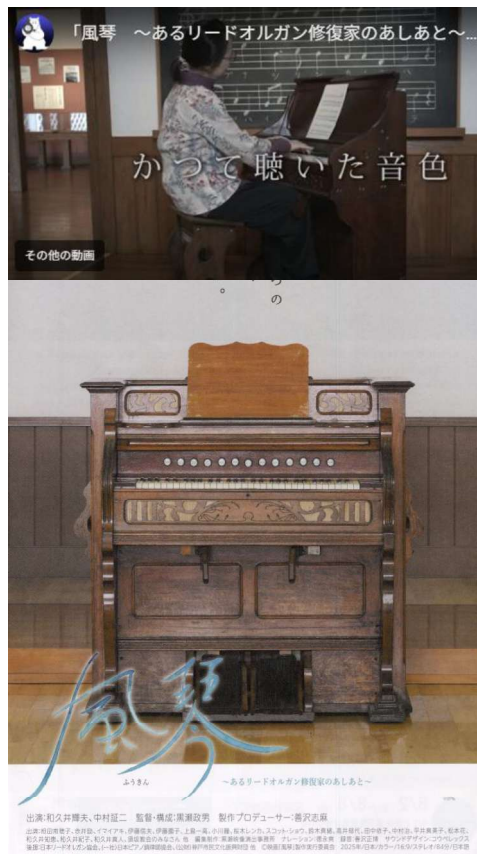
母や我が家の記憶が次々と頭に浮かべつつ、映画に引き込まれる。また、オルガンの柔らかな音色と共に日本各地に残るオルガンとその街の映像。信州 須坂 & 飯山の記念館 神戸・山口・長崎・東京等々の街や思い出が、頭をよぎる。次々と仲間と過ごした思い出もびっしり……

約2時間 思い出に浸った映画 みんなどうしているかなあ…と。映画良かったと。

また、息子が誘ってくれて、親父の故郷 丹後にも出かけて……

高齢になって 昔を懐かしく振り返ることも多くなりました。

11月 同窓会が京都である。久しぶりに仲間と出会えるのを楽しみにしています



昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、明治時代に「風琴」と呼ばれていた。
このオルガンは、今どうなっているのか。
現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造するメーカーは世界を見渡してもどこにも無い。
長野県在住の修復家・和久井輝夫さん(1937年生まれ)は、

リードという金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを、修復し、メンテナンスができる数少ない存在だ。
和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追うとともに、リードオルガンの歴史と、その魅力を支えるさまざまな人々を描くドキュメンタリー。
オルガンを愛するひとたちが、ここにいる。



リードオルガンが持つ唯一無二の音的な魅力と文化的価値を、新たな出会いとして知るきっかけになるでしょう。

浜松市美術館 館長 嶋田雅之



出演：和久井輝夫(オルガン修復家)、中村証二(オルガニスト) 監督・構成：黒瀬政男 製作プロデューサー：善沢志麻 製作：映画「風琴」製作実行委員会

上映映画館 8/2(土)~8/8(金) 元町映画館にて
8/2 上映後 黒瀬監督舞台挨拶開催
8/4 上映後 イマイキオルガン演奏 & 善沢プロデューサー挨拶
手書きの楽譜が用意されています。ご了承ください。

元町映画館
078-366-2636 mtoei.com
18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、明治時代に「風琴」と呼ばれていた。

このオルガンは、今どうなっているのか。

現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造するメーカーは世界を見渡してもどこにも無い。

長野県在住の修復家・和久井輝夫さん(1937年生まれ)は、リードという金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを、修復し、メンテナンスができる数少ない存在だ。

和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追うとともに、リードオルガンの歴史とその魅力を支えるさまざまな人々を描くドキュメンタリー。オルガンを愛するひとたちが、ここにいる。



丹後 天橋立近く「与謝野町大内峠一字観公園ロッジ」の予約取れたと息子一家から連絡。
 「伊根の舟屋で昼食・成相山から天の橋立展望、夕方ロッジに入って孫たちとバーベキュー。」と。
 丹後は親父の出身地、与謝野町大内峠は伊根・天橋立の宮津湾を見下ろす丘の上という。
 私のHP「たたら探訪 古代の和鉄の道」のスタートが「丹後の国のたたら探訪」。
 かつてはよく通いましたが、知る親戚筋も誰もなくなり、もう随分ご無沙汰。

思いもよらぬ息子一家のプレゼント 家内ともども思い出一杯の丹後路の風来坊ができました。
 私的なスライド動画アルバムにしての記録ですが、丹後の国にご興味があればと。



◆ スライド動画 思い出一杯の丹後路 風来坊の記録 8月16日

infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk18.mp4

瀬川・氷ノ山林道 秋の自然観察会 2025.10.30.

氷ノ山の紅葉も随分遅れているようでしたが、兵庫にこんなに美しいブナ林や溪谷がある



残念ながら氷ノ山山腹をめぐる氷ノ山林道は良く整備された道ですが、車のすれ違いが安全にできぬ標高約1000mレベルの山腹を縫って走る道。フリーのドライブでは無理だとハッと気が付きました。ライダーたちは結構駆けているようですが、安全注意。今回も林道協会の先導車をつけての道案内。紹介しながら安全注意。申し訳ありません。スーパー林道は観光兼ねての林道ですが。出かけられる時には行程にご留意ください。 Mutsu Nakanishi

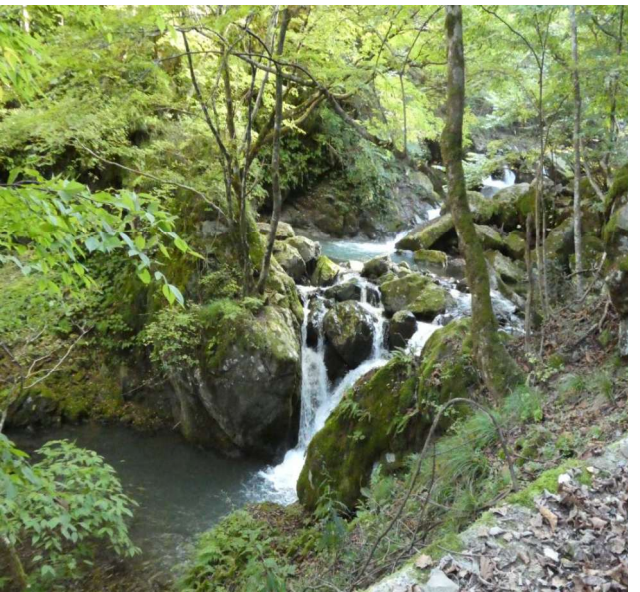
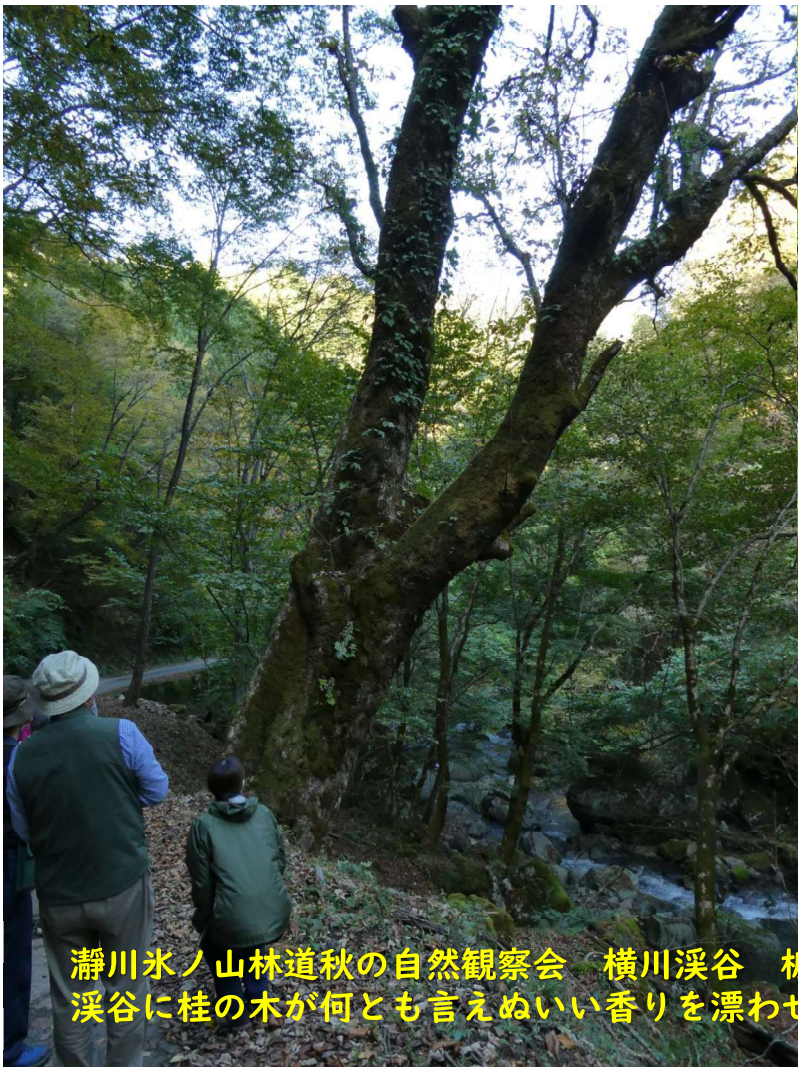


氷ノ山 南東尾根 ブナ林が続く大段平登山道で
瀬川・氷ノ山林道 秋の自然観察会 2025.10.30.





瀬川・氷ノ山林道 秋の自然観察会 ブナ林が続く大段平登山道2025.10.30



瀬川氷ノ山林道秋の自然観察会 横川溪谷 枳の木 2025.10.30、
溪谷に桂の木が何とも言えぬいい香りを漂わせていました

「幸せ運ぶ コウノトリ」
みんなにも 幸せが
運ばれますように



県道65号稲美町野寺「中池」鬼踊りで有名な高菌寺すぐ南



うれしいコスモスの秋
加古川西岸 志方広尾の里のコスモスとの出会い
、 通い始めて もう何年になるだろう

爽やかな秋の風に吹かれて 揺れるコスモスは
美しい乙女のごとも愛らしい
花言葉は「乙女の真心」「謙虚」「調和」
「思わす」 大空を見上げて 秋の空気と胸一杯

コスモスの秋 秋の風物詩2025

From Kobe Mutsu

10月 コスモスの秋 pdf file に整理して発信 2025.10.25.
コスモスの秋 2025 ひよんなことから昔の記憶を次々と思い出す老齢を意識した秋に



<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710AutumnFromKobe.pdf>

コスモスの秋 2025photo

- ◆ 毎年訪ねる加古川東岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.
- ◆ コウノトリ数羽飛来 日本一数多くのため池が点在する加古川東岸の稲美野 13:30
「節分 鬼踊り」で有名な高菌寺前「中池」に幸せ運ぶコウノトリが数羽飛来
原チャリで駆ける時にはいつも探すのですが、やっと出会えました
- ◆ 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」を読んで “幸福とは何か?” の問いかけ
- ◆ ドキュメンタリー映画「風琴」8月7日元町シネ ーあるリードオルガン修復師のあしあと
我が家にもそっくりの母のリードオルガン 幼いころの思い出や知人・仲間の事等々
おやじの国 丹後にも行けて 遠くなった記憶が次々と 思い出一杯の初秋に
- ◆ 10月30日 楽しみにしていた秋の氷ノ山林道自然観察会に参加
昨年より1週間遅らせての自然観察会とききましたが、まだ紅葉はこれから。
氷ノ山大段平のブナ林・そして横谷溪谷の秋 楽しい自然観察会でした。
紹介した林道歩きの基地は麓に車駐車、徒歩でないと安全上やっぱり無理と。ご注意ください
ほんとうにひよんなことから、過去を振り返って いろんな思いが駆け巡るコスモスの秋に
仲間からの近況メール 仲間みんなが家族共々老化と向き合う新しい道
自分だけじゃない!! と感じるコスモスの秋 お互い元気で毎日を 2025.11.1.

From Kobe Mutsu Nakanishi

- ◆ 毎年訪ねる加古川東岸の田園地帯 志方町広尾の里のコスモス畑で 2025.10.25.
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025web.pdf>
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025.mp4>
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Cosmos2025photo.pdf>
- ◆ コウノトリ数羽飛来 日本一数多くのため池が点在する加古川東岸の稲美野 2025.10.25. 13:30
「節分 鬼踊り」で有名な高菌寺前「中池」に幸せ運ぶコウノトリが数羽飛来 やっと出会えました
コウノトリ飛来動画: <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/walk22/R0710Kounotori.mp4>
- ◆ 急逝された親谷宏さん発信の動画「老いを楽しく生きるために」(2012年8月)をBGMにして
親谷さんの逝去を悼みました: https://infokkna2.com/ironroad/netdog/Philosophy_For_Old_Age.mp4
- ◆ 和鉄の道 9月掲載 思い出一杯の丹後路 風来坊の記録 2025.8.16.
スライド動画: infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk18.mp4
- ◆ pdf file PR パンフ : ドキュメンタリー映画「風琴」& 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」
<https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710FromKobeTenpuA.pdf>

- ◆ 前月の便り : <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/R0710.htm>
- ◆ 和鉄の道・Iron Road Top page: <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm>

◆ドキュメンタリー映画「風琴」 8月7日元町シネマ ーあるリードオルガン修復師のあしあと

娘の勧めで本年8月こんな映画を神戸元町で観ました

昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、
明治時代に「風琴」と呼ばれていた。

現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造する
メーカーは世界を見渡してもどこにも無い。

このオルガンは今どうなっているのか。

長野県須坂在住の修復家・和久井輝夫さんはリード
という金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを修復し、
メンテナンスができる数少ない存在だ。

和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追う
とともに、リードオルガンの歴史と、その魅力を支える
さまざまな人々を描くドキュメンタリー。オルガンを
愛するひとたちが、ここにいる。(映画案内より)

映画が始まってすぐ思いもかけず、
「我が家に眠っていた母のオルガンそっくりや」と。
母や我が家の記憶が次々と頭に浮かべつつ、映画に引き
込まれる。また、オルガンの柔らかな音色と共に日本各
地に残るオルガンとその街の映像。信州 須坂 & 飯山の
記念館 神戸・山口・長崎・東京等々の街や思い出が、
頭をよぎる。次々と仲間と過ごした思い出もびっしり・・・
約2時間 思い出に浸った映画 みんなどうしているかなあ…と。映画良かったと。
また、息子が誘ってくれて、親父の故郷 丹後にも出かけて・・・
高齢になって 昔を懐かしく振り返ることも多くなりました。
11月 同窓会が京都である。久しぶりに仲間と出会えるのを楽しみにしています



昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、明治時代に「風琴」と呼ばれていた。
このオルガンは、今どうなっているのか。
現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造するメーカーは世界を見渡してもどこにも無い。
長野県在住の修復家・和久井輝夫さん(1937年生まれ)は、
リードという金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを、修復し、メンテナンスができる数少ない存在だ。
和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追うとともに、リードオルガンの歴史と、その魅力を支えるさまざまな人々を描くドキュメンタリー。
オルガンを愛するひとたちが、ここにいる。



ドキュメンタリー映画「風琴」～あるリードオルガン修復家のあしあと～



出演:和久井輝夫(オルガン修復家)、中村証二(オルガニスト) 他 監督:構成:黒瀬政男 製作プロデューサー:善沢志麻 製作:映画「風琴」製作実行委員会
ロケ地:三和和久井(長野県須坂市)、須坂市立仁光小学校、長野県立記念館、須坂市立博物館、宮内省、日本キリスト教団神戸聖公会、須賀教会、香取教会、松山教会、香通寺教会、カトリック北須賀教会、聖グレゴリオの家、須松市家源博物館、博物館明治村、アトリエ・ビバ、白旗荘、松山聖徳中学・高等学校 他

上映映画館

8/2(土)～8/8(金) 元町映画館にて

8/2 上映後 黒瀬監督舞台挨拶開催

8/4 上映後 イマイキオルガン演奏 & 善沢プロデューサー挨拶

予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

元町映画館
078-366-2636 mtoei.com

18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

昔、学校の教室で見かけた木製の足踏みオルガンは、明治時代に「風琴」と呼ばれていた。
このオルガンは、今どうなっているのか。
現在、リードオルガン(足踏みオルガン)を製造するメーカーは世界を見渡してもどこにも無い。
長野県在住の修復家・和久井輝夫さん(1937年生まれ)は、リードという金属片が振動して鳴るこの複雑なオルガンを、修復し、メンテナンスができる数少ない存在だ。
和久井さんが日本各地で手がける修理の様子を追うとともに、リードオルガンの歴史とその魅力を支えるさまざまな人々を描くドキュメンタリー。オルガンを愛するひとたちが、ここにいる。

◆ 夏川草介さんの「エピクロスの処方箋」の事。

幸福とは何か？

心に悩みがないことと、肉体に苦痛がないこと。 エピクロスが提示したこの素朴な条件に、私はもう一つだけ付け加えます。

すなわち「孤独ではないこと」。ー 夏川草介

スピノザの診察室の続編「エピクロスの処方箋」を読みました。
京都の街中とお菓子の釣られて読み始めたのですが、高齢者になって、不安が募る高齢者の医療や、今の医療に従事する人の眼差しがよく見える。新聞のニュース等が伝える医療現場の厳しさや患者・家族の痛み等々について、やわらかい言葉で描き、私には清々しい読後感。頭の体操になりました。毎日老化と向き合う歳になった今、人それぞれ。迷い考え違いも多いと。一昨日のgoogleの検索数みる1760000件のアクセス。もう、読まれた方もおられると思いますが、聞きしに勝る人気、ご参考になればと。

2025.10.25. Mutsu from Kobe

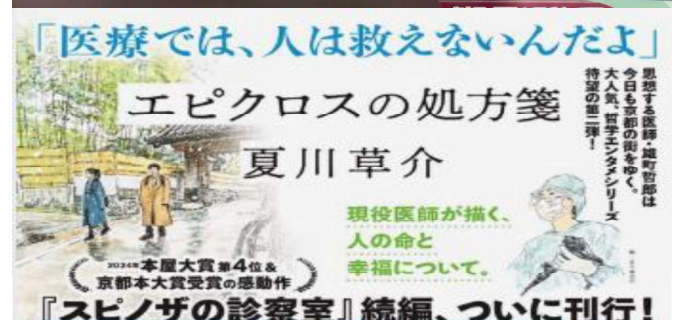


2025.10.17.神戸総合運動公園 コスモスの丘で



「幸福」とは何か。
幸福に生きるとはどういうことか。
幸福は環境が与えるものなのか、それとも
自分の力で生み出すものなのか。
幸福と快樂とは何が異なるのか。

夏川草介



夏川草介作『スピノザの診察室』の続編で京都の町中にある病院を舞台にした医療小説
私の知る京都の街と幾つも出てくる和菓子につられて、の読みだしました



丹後 天橋立近く「与謝野町大内峠一字観公園ロッジ」の予約取れたと息子一家から連絡。
 「伊根の舟屋で昼食・成相山から天の橋立展望、夕方ロッジに入って孫たちとバーベキュー。」と。
 丹後は親父の出身地、与謝野町大内峠は伊根・天橋立の宮津湾を見下ろす丘の上という。
 私のHP「たたら探訪 古代の和鉄の道」のスタートが「丹後の国のたたら探訪」。
 かつてはよく通いましたが、知る親戚筋も誰もなくなり、もう随分ご無沙汰。

思いもよらぬ息子一家のプレゼント 家内ともども思い出一杯の丹後路の風来坊ができました。
 私的なスライド動画アルバムにしての記録ですが、丹後の国にご興味があればと。



◆ スライド動画 思い出一杯の丹後路 風来坊の記録 8月16日

infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk18.mp4